

2024年 ニッケグループ代表 年頭挨拶

新年 明けましておめでとうございます。

新しい年である2024年が始まりました。皆さんにおかれましても、気持ちを新たに新しい年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

年末年始も勤務をされていた皆さん、ご苦労様でした。

年頭にあたり、ニッケグループの皆さんへご挨拶を申し上げます。本年は4年ぶりにニッケ本社ビルでリアルに新年祝賀式を開催し、皆さんと直接お会いして、ご挨拶できることを心より嬉しく思います。



今年のお正月は、皆さんご承知の通り、元日に震度7の能登半島地震、2日に羽田空港航空機事故と、立て続けに大規模災害が発生しています。亡くなられた方のご冥福をお祈りすると共に、被災された方々にはお見舞いを申し上げます。

未だに被災地は困難を極めている状況であり、一刻も早い復旧を願うばかりです。ニッケグループの人的な被害は今のところ幸いにも報告を受けておりませんが、建物、家屋、機械設備の被害がグループ会社の外注先で発生しています。引続き情報収集とその対応、支援を行っていく所存です。

さて、私たちを取り巻く環境を見ますと、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い行動制限や海外からの入国制限が緩和され、経済・社会活動の正常化が進んでいますが、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢悪化などにより、地政学的リスクがますます高まりを見せています。また、米中対立、資源・エネルギー価格の高騰、為替の変動など、先行きの不透明感は続いています。国内においても、賃上げによる個人消費は緩やかに持ち直してきたものの物価上昇に賃金上昇が追い付かず、景気回復の原動力に未だ結び付いていません。

昨年2023年度は、第2次中期経営計画の最終年度であり、このような不確実な環境のなかで、その目標達成に向けて各事業を推し進めてきました。結果、第2次中期経営計画の目標数値には届きませんが、期初に発表した年度目標は達成できる見込みです。グループ連結の営業利益は継続して100億円を超え、安定した収益基盤の構築が進んでいることは評価できるものであり、真摯に業務に取り組んでいただいた社員の皆さんに感謝いたします。

2024年度からは「RN130ビジョン第3次中期経営計画」がスタートします。RN130ビジョンを具現化する最終フェーズとなりますが、各事業・各人がビジョン策定時に描いた「ありたい姿」に対し、今後やるべきことを改めて認識し、次の中期経営計画に邁進してもらいたいと思います。

第3次中期経営計画の重点方針の中では、特に、「商品開発・合理化・省エネ設備への投資」、「顧客拡大への投資」、「人財投資」を3つの投資として掲げています。各々が着実に各施策を進め「前年より成長」していくことで、過去最高の売上高・利益を更新するとともに、皆さんの「ありたい姿」を具現化していきましょう。

また、この第3次中期経営計画期間中に、その次の10年先の将来ビジョンを策定します。今後も国内少子高齢化や労働力不足、AI進化・環境問題など社会的に大きくかつ急速な変革が起こってきます。その中で更にニッケグループが成長拡大するには、「みらい生活創造企業」を目指しチャレンジし続けるしかないと考えます。そういった意味で今後10年のグループが目指すべき企業像・方向性・経営戦略を新たに構築する「CF140ビジョン」(Create the Future of the略)委員会を昨年12月から立ち上げています。何のために事業をしているのか(パーパス)、どんな価値を創造し挑戦していくのか(ビジョン)をもう一度練り直します。魅力的で収益性の高い事業としていく事で、社員の給与・処遇やモチベーションをアップして、社員とステークホルダーを幸せにすることを目指します。

昨年は海外も含めて、より多くの拠点巡視を実施することができました。そのなかで、先ほど述べました3つの投資について具体的な取り組み内容を皆さんから直接伺い、共に検討してきました。今年の巡視時には、「このように変わった」、「このようにチャレンジしている」という話を聞かせてもらえることを大いに期待しています。

さて、今年の干支は「辰」です。「辰」は、十二支の中で唯一空想上の生き物で、その力強さから隆盛の象徴として尊ばれてきました。昇り龍などに描かれるように、勢いよく活気あふれる年になると言われています。ニッケグループ社員の皆さんが昇り龍となって、自身と会社の成長を加速させ、「みらい生活創造企業」へと飛躍する年にしたいと考えています。

最後になりましたが、事業を推進し成長させていくうえで「健康と安全」はその基盤となります。ニッケグループでは「健康経営」の推進に取り組んでおり、皆さん是非心掛けてください。

2024年が、当社グループの益々の発展、そして皆さんと皆さんのご家族にとって、幸せな1年となることを祈念して、私の新年の挨拶とさせていただきます。

ニッケグループ代表
ニッケ 代表取締役社長 長岡 豊